

令和7年度 山口県立農業大学校 学校評価シート

〔重点目標〕

- | | |
|------------|------------------------|
| ①担い手の確保・育成 | ②新規就農・就業者の確保・育成（農業・林業） |
| ③土地利用学科の運営 | ④園芸学科学修の充実 |
| ⑤畜産学科学修の充実 | ⑥効率的な業務運営体制の構築 |
| ⑦危機管理の徹底 | |

重点目標	達成目標・評価指標	中間評価・達成見込み 達成度(1-10)		外部評価と次年度改善策
■学生教育 担い手の確保・育成	●中学校への農大魅力発信 (職業体験実施校への学校説明会実施100%) ●高等学校等と連携の取組実施(5項目実施100%) ●進路確定(2年生)就職率100%	●職場体験実施(2校) ●連携5項目実施 ●進路確定100% 見込み	9	①高等学校等とのさらなる連携強化 ・相互の行事や授業等でより充実した内容に取り組む ②今後も充実した農大教育の継続を期待 ・学生の意向や情勢を踏まえ、授業改善に取り組む ③進路決定率100%の成果と農業法人への就農への期待と継続した進路指導 ・個々の進路希望を早期に把握し、ガイダンスや短期研修の充実を図る ④自立した学校生活ができる自治会活動を期待 ・学生自ら考え行動できる自治会活動の推進 ④自分たちで考える取り組みの継続 ・トヨタ式カイゼン教育等の継続
■社会人研修 新規就農・就業者の確保・育成(農業・林業)	◎農業 ●定員確保 (短期入門研修40名・作目基礎研修70名) ●進路確保 (担い手養成研修生進路確保100%) ◎林業 ●確実な研修生育成(修了率100%)	●短期:31名作目基礎:71名 ●担い手進路確保率:83% ●林業修了率:100%(20人/20人)	9	
■土地利用学科の運営 学科運営方法等の確立	●水稲・露地野菜生産プロジェクト学修:10課題 ●農業法人等での現地実習:10回/1人 ●トヨタ生産方式による現場改善:5テーマ	●10課題実施 ●2年生:10.2回/1人 1年生:7.0回/1人 ●2年生:5テーマ 1年生:5テーマ	9	
■園芸学科学修の充実 野菜・花き・果樹の各種技術実証の学修	●オリジナル品種・技術の実証学修:4件 ●農薬残留分析(2検体/年:トマト・ブドウ) ●JGAP維持審査(トマト・ミニトマト・ブドウ)	●実習学修4件実施済み ●残留分析2検体実施済み ●JGAP認証12/26更新済み	10	
■畜産学科学修の充実 酪農・肉用牛経営の安定を図る技術実証の学修	●2年生人工授精実施:1頭/1人以上実践 ●1年生人工授精師免許取得:1年生4名 ●スマート畜産の実践による個体管理 分娩間隔:酪農452日以下 肉用牛418日以下	●全員1頭以上受胎 ●3名免許取得予定 ●酪農435日 肉用牛359日	9	
■効率的な業務運営体制の構築 (「やまぐちワークスタイルシフト」の推進)	●課、グループ、室単位に業務平準化等による36協定の遵守(時間外勤務縮減) ・特別延長(月65h、年450h以内)の達成	●定期的な進捗管理及び業務平準化に向けた情報共有強化を実施し、本年度目標を下回る見込み (36協定の遵守を継続)	10	
■危機管理の徹底	●所属職員連絡システムの周知による危機管理の徹底 ・感染症や災害等への対応の徹底	●緊急連絡システム図の随時更新、感染症発生状況の常時監視や熱中症発生時の対応ルールの明確化を実施	10	